

令和6年度 第11回 三加和小中学校合同大運動会

白団

赤団



5月19日(日) 晴天に恵まれ、本年度の合同運動会を開催することができました。写真とともに、生徒の感想にて様子をお伝えします。

運動会を終えて

赤団団長 鍋島 司

今年の小中合同運動会は、僕たち三年生にとって最後のいい思い出になりました。今までも、中学生をまとめることはいつもやってきましたが、やはりそれに小学生も入ってくると、日頃から喋ったりしてもいいし、全員とコミュニケーションをとるのは難しいので、限られた時間の中で運動会を成功できるか、正直不安だったとしても大変でした。けれど、練習期間が始まるとそんな不安を感じる間もなく、演舞の練習をする毎日ですごくしました。

いよいよ明日が本番だという日に、自分の間違った判断と気の緩みもあって、手首に怪我をしてしまった。赤白の団員のみんなにはもちろんとても迷惑をかけてしまったけど、一番の後悔は、先生からも言われたとおり、三年生全員で運動会に参加して楽しむという一つの目標を壊してしまったことです。

白団団長 北原 汰一

本番では、思ったとおりのパフォーマンスができなかったけど、団員のみんなと団結して運動会の舞台を自分たちで作りあげたことが最高の運動会でした。

僕は今年、運動会の白団団長になりました。団長をして大変だったことは、まず応援の演舞を覚えて仕上げることです。伝統を受け継ぎながらもオリジナルを入れるというところが大変でした。他にも周りの意見も取り入れながら完成させるのが大変でした。でも、全学年での応援練習では、一年生は初めてのことで難しかったと思うけど、一生懸命声を出してくれてうれしかったです。二、三年生は一年生を引っ張るような大きな声を出してくれて、みんなで盛り上がるのができてよかったです。本番の前日に赤団団長の司くんが手首を怪我したことを知って、当日がどうなるか心配だったけど、成功したからよかったです。僕が今回団長をして人の前に

立つて話したり大きな声を出して気づけたことは、厳しく言ったりするより、自分も含めみんなで盛り上げながら教えたり、競争心を持って練習をするややる気も出るし楽しくなるということです。このことを今後の活動に生かしていこうと思います。

ダンスリーダー 開田 心優

私がダンスリーダーを務めて学んだことは、前に立つて指示を出し、みんなをまとめることの大変さです。ダンスリーダーと決まったとき、そこまで大変じゃないだろうと軽い気持ちで考えていました。しかし、実際に練習が始まると、事前に打ち合わせをしていてもそのとおりにできなかったり、なかなか指示が通らずどうしたらいいのかと悩むことが多かった。また、決め事などもスムーズに決まらず時間がかかってしまいました。慣れないことをして、疲れたり嫌になったりすることもあったけど、全校生徒のみんなが頑張ってくれて覚えるようになってくれたので自分も頑張ろうと思いついてくれた。慣れないことをして、疲れたり嫌になったりしました。ありがとうございました。

団画リーダー 菊川 諒

僕は今年、運動会の団画リーダーになりました。難しかったことが三つあります。

一つ目は、団画かポスターのどっちを描くのかで意見が分かれたことです。ポスターのほうが楽だったかもしれないけれど、最終的には団画を描いてよかったと思います。二つ目は、どんな人物を描くかがなかなか決まらず、団画担当のみんなにそれぞれの思いもあって、まとめるのが大変だったことです。三つ目は、影の部分やシワの部分を描く作業です。たくさん教えていただいた長崎先生に感謝です。

やってよかったと思うことは、みんなで目立つ絵を描けたこと、役割分担して仲良くスムーズに終わらせることができて絆が深まったこと、時間はかかったけど終わらせたこと

きの達成感がとても気持ちよかったです。起業体験も、委員会も最後のことでこれを生かせばいいと思います。



1年

3年

2年